



碧南ロータリークラブ週報

第2966回例会 令和2年12月16日(水)

- 会長 岡本 明弘
- 幹事 鈴木 泰博
- 会場監督(SAA) 服部 弘史

2020-2021 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



ロータリーは機会の扉を開く

- 会報委員 林 俊行・石川鋼勇・牧野勝俊

●本日のお弁当

小伴天

●本日のお客様

愛知県高等学校野球連盟 副理事長 鶴田賀宣様

会 長 挨拶

失礼致します。冬型の気圧配置が強くなりまして、今週1番の寒気が流れております。会員の皆様にはご自愛いただきますよう、よろしくお願い致します。

今年の新語・流行語大賞が「3密」、2020年を表す漢字が「密」となりました。今年はやはりコロナの1年だったなと思います。

碧南 RC も本日の例会と土曜日の夜例会をもって、今年度の例会は終了致します。会員の皆様には大変窮屈な例会運営にご協力いただきまして、本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

それで、本日はハイブリッド型例会という形で、カメラを意識しながら話さないといけないので、よろしくお願い致します。例会場以外から8名、例会場から5名という予定を聞いておりますけれども、ぞくぞくと参加してみえる感じになっております。本日は非常にシンプルなやり方をしております。ご説明しますと、正面にあるマイク付きカメラ1台だけで映像の撮影と音声を収録して、事務局の間瀬さんのパソコンをホストコンピューターとして、会員を例会に招待する形態をとっております。スクリーンの上の方に Zoom で参加してみえる方の顔が出ております。基本的には今回はテストですけれども、生の顔を出していただかないと出席しているかどうかわかりませんので、ビデオをオンにいただけるとありがたいと思います。そして、ミュートでの参加をお願いしておりますが、マイクをオンにしますと、双方向での例会ができるという設営になっております。コロナ感染対策用の新しい例会



岡本明弘会長

開催スタイルの 1 つになると思ひまして、今回はそういう方向でやらせていただきたいと思います。また、本日はこの後に西三河分区の会長・幹事会議も Zoom で開催されます。これもコロナ禍で考えられた西三河分区内の会議開催方法の 1 つで、次年度の伊藤正幸ガバナー補佐の時は碧南 RC が担当しますので、参考になる方法かなと思います。

それで、本日はハイブリッドに拘りまして、「ロータリーの友電子版」の話をさせていただきます。会員の皆様は既に電子版のロータリーの友をスマホか何かで、随時見ていただいているかと思ひます。ID とパスワードを入力すれば、簡単にロータリーの友を見ることができます。ロータリーの友の 12 月号に「文字を読むなら、紙、デジタル？」が掲載されておりました。紙の良いところは、印を付けることができる、ページ全体が見える等があると思ひます。デジタルの良いところは、文字を拡大できる、出先で見ることができる等があると思ひます。会員の皆様が紙派なのか、デジタル派なのかはわかりませんが、個人的には紙もデジタルも良いと思ひますので、ハイブリッド派かなという感じですが。コロナ禍でデジタルの流れが碧南 RC にも入ってきましたけれども、人と人とが繋がるのが基本ですので、よろしくお願ひ致します。これをもって、本日の会長告知と致します。

本日の例会もよろしくお願ひ致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- 本日はハイブリッド型例会ということで、例会場より Zoom を体験される方は指定の Wi-Fi をご利用ください。但し、接続人数が多い場合は繋がらない可能性もありますので、ご了承ください。
- 次回の例会は 12 月 19 日（土）の 17 時から家族例会を衣浦グランドホテルで行います。受付は 16 時 30 分からです。
- 12 月 23 日（水）は 19 日の振り替え休会になります。
- 12 月 30 日（水）と 1 月 6 日（水）は定款第 7 条第 1 節(d)(1)による休会になります。
- 来年につきましては、1 月 13 日（水）から例会を開催致しますので、よろしくお願ひ致します。
- 1 月 27 日（水）に第 2 回の IM 実行委員会開催のご案内を関係者の方に配布させていただきましたので、よろしくお願ひ致します。



鈴木泰博幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 65 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 8 名) 出席者 53 名	
出席対象者 53/58 名	出席率 91.38%
欠席者 12 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

- 木村 徳雄君 ちょっと早いですが、皆さん今年もお世話になりました。来年も岡本会長はじめ皆さん宜しくお願いします。
- 杉浦 栄次君 先日のゴルフ例会で、ハンディキャップに恵まれ、優勝できました。ありがとうございました。
- 石川 鋼逸君 本日の卓話講師、鶴田賀宣様をご紹介させていただきます。

卓話

「部活動指導の中での勘違い」

愛知県高等学校野球連盟 副理事長 鶴田賀宣様



鶴田賀宣様

皆様、どうもこんにちは。まずは、社会の中で実績を挙げられてみえる皆様方の前で、私がこうやってお話しすることは非常に恐縮に思っております。教員の世界というのは、本当に視野が狭い世間知らずだと常々思っているのです、今日はお喋りする中で私の方が勉強させていただけたらなと思っております。

教員というのは、プライドが高い、叱られたくない、評価されたくないという 3 つの特徴がありまして、そんな中で私は高校野球の指導者をさせていただくようになって、他の教員よりは色々な社会のことなどのお話ができるのかなと思うので、そんなことを感じながら色々と考え方が変化してきました。

今日、どんなお話をしようと思った時にやはり私にできるのは、高校野球でこんなことを生徒に指導している、こんなことを生徒に意識付けさせているということなんじゃないかなと思ったので、そういうお話をさせていただいて、後半は愛知県高等学校野球連盟の今後の取り組みや目標のお話をさせていただきたいと思えます。

私は教員になった時に生徒に 3 つ夢があるという話をよくしました。1 つ目は甲子園で 1 勝すること、2 つ目は東京 6 大学で活躍できる選手を育てること、3 つ目は海外へ行って野球をしていること。当時、27、28 歳でしたけれども、生意気ながらこういうことを生徒に話をしました。何とか甲子園で 1 勝すること以外は達成できました。

指導者の講習会などでちょこちょこ講演をさせていただく中で、必ず 4 つの『ギ』というお話をさせていただきます。私は高校野球の指導者をしていの中で、競技・仁義・礼儀・行儀

の4つが重要ではないかと考えています。この4つのポイントで、競技・仁義・礼儀・行儀の順に重点を置くべきだと私は思います。やっぱり1番最初に指導者が教えないといけないのは、競技だと思います。例えば、部活動じゃない場面で考えると、西尾高校は進学校で全員進学しておりますので、私も担任を16年間やりましたけれども、やはり3年生の担任になったら勢いだけではダメなんですね。私は体育の教員ですけれども、保護者の方々に求められるのは、ちゃんとした進学資料を整えた担任なんですね。ですから、その場合には担任として説得力のある話というのがスポーツでいう競技のところだと思うんですね。そうやって色々な場面でも通じることだと思います。

私が最悪の指導者と思うのは、行儀・礼儀・仁義・競技の順に優先する方だと思います。こういう方は競技のことをあんまり知らない場合が多いです。時々、少年野球などの指導を見る機会があるんですけども、昭和の時代のトレーニングをさせている方がいらっしゃいます。今は違って、もっと有効的なトレーニングや考え方があります。昔のように水を飲むな、ウサギ跳びをやれというのは、絶対にあり得ないんです。もっと野球という競技のことについて研究して、競技の特性をもっと考えていただければと思います。子供たちが知りたいのは、競技なんですね。行儀や礼儀は家庭教育でやることで、指導者があまりにも口を挟みすぎると保護者の方々のトラブルになります。行儀や礼儀は家庭に任せて、競技のことをしっかり教える指導者になられた方が上手くいくと思います。

人が何か活動する時には道筋や道理や手順があると思いますが、これが仁義に当たると思っています。今の子どもたちはそういうことが本当にわからないんです。凄く欠けている部分だなと思うんですが、競技と仁義をしっかりと教えてあげれば、フェアプレーができる選手になると思うんです。フェアプレーができる選手というのは強くなり、相手に対して称賛ができるようになると思うんです。そういった選手というのは社会に出てからも役に立つのではないのでしょうか。そんなふうに考えます。

それから、ポジティブシンキングについてですが、気を付けないといけないことは、ポジティブと勢いは違うということです。ポジティブに物事を考えるのは凄く大事ですし、スポーツの中でもとても大事だと思うんですけども、何でも勢いでというのは上手くいかないですよ。ポジティブシンキングというのは、常にアイディアマンであること、新しい発想をどんどん注入すること、発想の転換をすること、生徒の『夢』を大切にすること、自分の限界を決めさせないことなどだと思うんですね。時間を制限された中で効果を最優先してやらなければならないので、指導者はアイディアマンであるべきだなと思います。指導者が生徒よりも大きな野心や夢を抱くことが発展に繋がると思いますが、大事だなと思っています。

最後に愛知県高等学校野球連盟の話をしてください。愛知県高等学校野球連盟の中にも色々な部署があるんですけども、私は副理事長をやりながら、ずっと競技部を担当してまして、夏の大会の組み合わせを作ったり、日程を作ったりしています。また、愛知県の高校野球の1年生大会や招待試合などを企画するのも私の仕事です。今年はコロナの影響で夏の大会をどうするかということがありましたが、愛知県は独自大会を開催させていただきました。そのことに凄く批判があるだろうなと思ったら、皆さん物凄く応援してくださいました。他の県はお客さんを入れませんでしたけど、愛知県は対策を立ててお客さんを入れました。そ

うしたら、県外からも来てくれまして、私たちがお礼を言わなければいけない立場なのに逆にお礼を言っていただいて、1年の中で人の温かさを凄く感じました。対策をしっかり立ててやれば開催することは可能なので、一步ずつ前に進んでいこうと考えながら運営しています。愛知県高等学校野球連盟はここ数年、県の強化ということを第1目標にやってきました。その結果がどうかはわかりませんが、今から愛知県高等学校野球連盟の取り組みの中で大事なことは、ファンをもっと集めて野球を普及させることに力を入れていきたいと考えています。

どうもご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和3年1月20日（水）

職場例会卓話「おもいのフライパン誕生秘話 “調理器具の革命を起こす”」

会員 石川鋼逸君（石川鑄造株）